

ほっかいっぱいみさきっ子

御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和3年度 2月号

思わずほっこり オンラインPTA運営委員会

静岡県警の警戒レベルが上がり、オミクロン株の脅威が御前崎市にも押し寄せた1～2月、校内でも先日お配りした再改訂マニュアルに沿った対応を行っています。5年生が6年生のために「替え歌」を贈りたいと考えていましたが、難しい現状です。

それに伴い、1月下旬に予定されていた新旧PTA運営委員会をオンラインで実施しました。

初めての試みです。前日昼休み、関係の子どもたちがchrombookを手に会議室へ集合してもらい、段取りを打ち合わせました。私からは「当日は、ICTサポートスタッフとして接続や操作などおうちの方のサポートをお願いしたい。何なら参加してください。」と伝えたところ、どの子も気持ちよく引き受けてくれました。

さて、当日。新旧役員のみなさまの建設的なご意見や温かい反応、子どもサポートスタッフのおかげで、オンライン会議は順調に進みました。加えて、時折画面に映る子どもサポートスタッフの姿がなんとも微笑ましく、思わずにこにこしてしまう一時間でした。

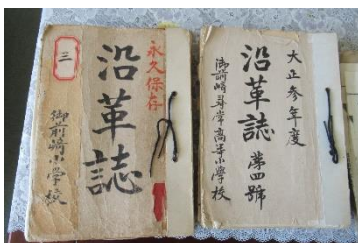
コロナ禍では、できないこと、変更を余儀なくされることも多いのですが、反面新しくできること、よりよくできることもあることを実感したできごとでした。

六年生を送る会やそのほかの行事でも同様、子どもたちの柔軟な発想を頼りにしながら、職員も知恵をしばって、令和3年度をしめくりたいと考えています。

録画にはなりますが、裏面で紹介した学習発表会もぜひご家族でご覧ください。



実際のオンライン会議画面



ようこそ 大先輩

先月号で、御前崎小の伝統ある校歌について触れましたが、先日の昼休み、思わぬお客さまがお見えになりました。

98才の本校卒業生、大先輩です。

「お墓参りに来たが、つつい懐かしくなっていて…」とのことでした。

6年生の中には、あいさつをしてお話した子もいたようです。掃除

時間で無人になったグラウンドで、鉄棒に手をかけたり、海の方に向かって拝んでいる姿から、(大変失礼ながら)もしかして何かお困りのことがあるのかと、声をおかけしたところ、お名前や上記のことをお話くださったのです。

(どんだん公園への坂道を示して)「ここを登って通っただよ、なつかしくて、なつかしくて…」と涙ぐんでおられました。

本当に歴史ある御前崎小学校です。今職員で行っている令和4年度教育課程編成では、歴史の重みを受け止めつつ、守るもの・変えていくものを話し合っているところです。

今いる子どもたちにとっても、「将来なつかしくてたまらない、大切な母校」でありたいと思います。

(「虹が出てるよ」の声で3階まで駆け上がり、運動不足を痛感した校長 仁平美和子)

